

日本ナザレン教団全国牧師会 沖縄平和宣言

前文

日本ナザレン教団教育委員会は、戦後 70 年にあたる 2015 年の第 17 回教職セミナーの主題を「沖縄と平和の福音」と決め、那覇バプテスト教会の国吉守牧師を主講師として、沖縄において実施しました。その理由は、70 年という時の経過と共に、人々の記憶が風化しつつあることを危惧し、世代を超えて語り継ぐべき使命と牧師としての再認識をすべきであると確信したからです。特に、現状は安保関連法案の成立、憲法改訂の動きの加速、個人の尊重よりも国家主義的傾向への回帰が危惧されています。信仰者として、そして牧師としての責任と使命を改めて自覚することを願いとして、今回のセミナーは企画され、実施されました。今回の研修では、沖縄が負わされている問題が「沖縄」の問題ではなく、日本の問題、また米国の問題であり、世界の平和の問題であることを改めて認識させられました。そこで、日本ナザレン教団全国牧師会は総意として以下の宣言を致します。

宣言本文

私たち日本ナザレン教団全国牧師会は、沖縄が歴史的にも、今日的にも負わされてきた苦難と犠牲、不正義に対して、自分たちの問題、また信仰的課題として真剣に取り組んでこなかったことを反省し、深く悔い改めます。この悔い改めに基づき、私たちは、以下の表明を致します。

- 1 沖縄が、私たちの国が、世界中が、軍事基地のない国となることを切に願い、祈り、そのための働きに取り組みます。
- 2 私たちは日本国憲法を擁護し、憲法が謳っている国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、信教の自由、政教分離の原則を、神の摂理によって与えられたものと確信し、神の御旨に沿わない、憲法の改訂、解釈改憲に反対します。従って「安保関連法案」の強行採決に抗議し、安保関連法の廃止を強く求めます。
- 3 私たちは沖縄の人々および教会との交わりを深め、正義と公平が沖縄において実現するように祈り、求めます。
- 4 私たちは日本国憲法の平和主義こそが世界の平和を実現するための道標となることを信じ、教会の働きと交わりを通して、全世界の教会に、軍事力によらない平和の道を共に作り、共に歩むように呼びかけ、働きかけます。
- 5 私たちは牧師として、聖書が指摘する平和を教会の内外において宣べ伝え、祈りつつ行動します。

2015 年 10 月 22 日

日本ナザレン教団全国牧師会